

司法試験

---

特別公開講座

赤木式！予備試験・司法試験合格のいろは

赤木 真也 LEC専任講師

---

れっく **LEC** 東京リーガルマインド



0 001213 210217

LM21021



## 司法試験・予備試験合格のためのいろは

### 1 合格目標（赤木クラスの目標等）

2024 予備試験（LS 経由なら 2023 京大 LS）への合格を目指す

↓

- (1) そのために、何から学習すればよいのか？（短答・論文、科目）
- (2) 合格するには何が必要か？（合格ラインや必要なスキル）
- (3) どのように学習すれば効率よく合格できるのか？（学習での意識づけ、方法等）

#### (1) 中でも重要なウェイトを占める論文試験に重点。

1 年目講座から論文意識＋2 年目までの一貫指導（主要講座は梅田で全てライブ）  
なぜ論文？

#### (2) 合格するのに何が必要？

論文突破に必要な能力：当事者目線と条文至上主義

※ 実務に必要な知識の最低限度

出題形式：事例・未知の問題

※ 短答合格への学習は論文力がつき次第。

基本姿勢：10 の不正確な知識より 1 の正確な知識。

合格点：「一応の水準」（50 点満点の 21 点以上）より少し上を全科目で

法律論文試験で、どうすれば合格点を安定して超えられるようになるか？

→どんな問題が出て、「条文を使いこなして」「紛争を解決」するスキルをつける

↓そのために必要なのは？

事例把握力

法的思考力（条文についての基礎的な最低限の知識＋思考方法）

応用力（条文の使いこなし、事実の分析等）

文章力

自己統制力

→これらを、講義を通じて「いつのまにか習得」

知識を条文に集約すれば鬼に金棒

#### (3) どのように学習すれば？→次ページ以下

## 2 赤木クラス推奨の勉強方法

### (1) 論文力を1年目からじっくり養成

#### INPUT

問題を解く感覚で、勉強。

事例、条文、当事者目線

講義後はしっかり復習、条文、理解（納得）

＝2週で4回が理想

重要な項目（AA, A）は条文見て、趣旨・要件・効果・判例が出てくるように

※1年目を相当重視。1年目終了時点でINPUTで理解不十分なところを極力なくす

#### OUTPUT

INPUTで示した解き方を実践

自信がないところ・間違えた部分の再INPUT

応用部分の学習法＝まねる（思考方法）

※1年目で、文章の暗記中心の学習にならないように。論文は知識の付け焼刃では対峙不可。「推理」「思考」を早くから鍛える。

※1年目の学習を漫然としない。常に「論文で解くために」INPUTしているという意識で。問題の解き方の基礎は、初期段階で提示

※復習用教材（全科目、論文用）で講義のエッセンスを中心にしっかり復習を。

※コアとなる論文用知識が十分に入っていないのに、細かい短答の知識を習得するのは困難と考えよう

※やるべきことをやり、やらざるべきことはしない。

※講義後に不定期に課外ゼミ（ライブクラス）予定

### (2) 徹底したメリハリ付け

テキストと条文

マーカー

ランク付け

学習時期

(3) 勉強方法の方針

INPUT 1年目  
2年目以降

OUTPUT 1年目  
2年目以降

3 他校等との違い

他校の一般的学習法＝論点暗記中心主義（条文軽視＋文章暗記）

＋2年目との連携不足

学習順序（LEC＝系統別、1科目集中。他塾＝ばらばら、数科目同時並行）

全科目1年目の一貫指導＋2年目論文講座も一貫指導

INPUTもOUTPUTも同じ講師で

LIVEクラスの利点

4 最後に

(1) スキマ時間の活用

(2) 気持ちのコントロール





**れっく LEC** 東京リーガルマインド

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2021 TOKYO LEGAL MIND K. K. , Printed in Japan

無断複製・無断転載等を禁じます。

LM21021